

合同常任委員会

「開かれた議会へ一歩」

定例会4日目、総務、文教厚生、経済建設常任委員会の合同委員会を開催した。

庁舎アンケート結果

〈村長挨拶〉

合同委員会終了後の全員協議会で、アンケートの結果を詳しく説明したい。

平成22年度一般会計決算認定

義援金送金先等

〈安達議員〉

東日本大震災救援義援金の使い道と建物災害共済基金分担金の説明を。

〈総務課長〉

義援金は、岩手県500万、宮城県と福島県は300万。公共施設を対象に共済保険への掛金。水害、火災が対象。地震関連は除外されているので、地震についても対象となるよう要望している。

〈安達議員〉

公共施設の耐震強



合同常任委員会（議員席）

度の補強は。

〈総務課長〉

学校は、100%の耐震補強が終了。他の公共施設はこれから。

地域座談会

〈脇坂議員〉

地域座談会は有意義な事業だった。

座談会の意見をまとめ検証し、行政に活かし、方向性を示すことが大事。今後の座談会の予定は。

〈総務課長〉

いろいろな意見をいただいた。どのような形で反映させるかが一番大切。

緊急性がありやるべきことについては先にやりたいと思う。

次の座談会。今のところまだ考えていない。

子育て支援事業

〈脇坂議員〉

各地区の子育て支援事業の運営が異なっている。長陽は公営で運営・管理され、又、白水・久木野地区は保護者会が運営している。

この様に運営方法が異なることの説明を。

〈村長〉

合併前からのそれぞれの白水、長陽、久木野のやり方が今の様な形であり、移行した。

〈脇坂議員〉

統合した後の南阿蘇西小学校の場合、子育て支援事業は、どういう形で運営していくのか。

〈村長〉

統合後は1か所という考えで協議した。ただし、保護者の迎えが原則。保護者の要望もあり、24年度は今までの校区内において学童保育を実施する準備を進めている。

その後は、一か所でやっていきたい。

決算と少子高齢化対策要望

〈大塚議員〉

決算で予算執行率が92・6%。執行率を95%程度に上げてもらいたい。予備費が3億6300万は、多すぎると思う。政策的にも執行しなければならぬ施策があると思う。

少子高齢化対策等を具体的に考えていただきたい。

〈岩代議員〉

繰越金が2億6千万増えている。単純に繰越金をそのまま自主財源に入れるのはおかしい。

〈総務課長〉

決算書の作り方に基づいている。

保育所運営

〈小堀議員〉

保育所の運営委託について。村外に委託している数と、受託している数の対比は。入所待ちの状況とその対策は。

〈保育所長〉

9月現在で、他の市町村に委託している園児が15名。逆に村でお預かりしている園児が7名。

入所について、

村内の子どもを優先。村外も対応している。

久木野が一番要望が多いが未満児の部屋がとて狭い状況。

〈村長〉

増築するかどうかは、今検討中。



白水保育所